



湾岸・アラビア半島地域ニュース

サウジアラビア：韓国大統領の訪問

(3月25-26日付現地報道)

1. 3月24日、盧武鉉韓国大統領は、24-26日の日程でサウジアラビアを訪問し、アブドラ国王との首脳会談を行った他、両国関係の強化に向けた各種の協定に署名した。尚、首脳会談に先立ち、アブドラ国王より盧大統領に対し、各国元首のサウジ訪問時に授与される「キング・アブドルアジーズ勲章」が授与された。
2. 首脳会談では、あらゆる分野での両国協力関係とその強化策、パレスチナ問題、イラク情勢をはじめとする地域及び国際情勢について意見が交換され、同首脳会談終了後、国王・大統領の列席の下、以下の協定及び合意議事録への署名が行われた。
 - (1) サウジ高等教育省と韓国教育・人的資源省による高等教育分野に関する合意議事録
 - (2) 両国間での二重課税防止及び所得税への課税逃避の防止協定
 - (3) サウジ通信・情報技術省と韓国情報通信省による通信・情報技術分野での協力に関する合意議事録
3. 25日、盧大統領は、サウジ諮問評議会を訪問し、ホメイド議長他の諮問評議会関係者と会談すると共に、同議会で両国間の関係強化・促進を希望する旨を趣旨とする演説を行った。
4. 25日、盧大統領は、ヤマニ商工大臣も出席したサウジ人ビジネスマン協会主催の会合に出席し、スピーチを行った。

参考：盧武鉉大統領は3月24-30日までサウジアラビア、クウェイト、カタルの中東三カ国を歴訪中。今回の訪問目的はアラブ主要国との協力関係の強化であり、韓国の大統領がサウジアラビアを訪問するのは1980年以後27年ぶり、クウェイトとカタルへの訪問はいずれも国交を結んでから初めてとなる。